

校長室だより
NO. 56
令和2年3月9日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高須 亮平

令和元年度の教育診断評価の結果

令和元年度の1年間の教育診断評価の1つとして、2月19日(水)～26日(水)に児童・保護者を対象に全数(保護者は家庭数)でアンケート調査をしました。皆様のご協力に感謝します。調査結果を表したグラフは裏面に記載してあります。

調査の項目内容は、例年のものと同じですので、例年、特に昨年度の結果と比較しながら教育活動について振り返ることにします。学級・学年差はありますが、今年度の子どもたちの意識、実態を全般的に平均化して把握するとともに、来年度の教育活動を考える資料とします。

昨年度の調査と比較して、データの変動を示しているものについて、子ども、保護者それぞれの項目で比較して、考えられる要因を記すことにします。今年度の傾向としては特に大きな変動は示していませんが、5ポイント程度のゆるやかな上向き傾向にある項目が多くありましたので、その項目をあげます。



大運動会・高学年による組立体操

なお、「A」は選択肢の「よくあてはまる」、「B」は「どちらかというにあてはまる」を表します。特に「A」の数値について注目してみました。また数値は「○」はプラス傾向を、「△」はマイナス傾向、「p」はポイントを表します。

子どもの調査結果

※ 昨年度の調査結果と比較して「ゆるやかな傾向」にある項目(5p程度の差)

- | | |
|---|-------------------|
| <input type="radio"/> くつやスリッパの整頓ができる | A+Bの数値の増 |
| <input type="radio"/> 分からないときは先生が丁寧に教えてくれる | Aの数値の増 |
| <input type="radio"/> 自分が困ったりしたとき相談できる友達がいる | Aの数値の増 |
| <input type="radio"/> 自分が困ったときに相談できる先生がいる | Aの数値の増 |
| <input type="radio"/> いじめをしないで友達を大切にする | A+Bの数値の増 |
| <input type="radio"/> 今住んでいる地域が好きだ | A+Bの数字の増 |
| <input type="radio"/> △ あいさつや返事がしっかりできる | Aの数値の減少(A+Bの数値の増) |

保護者の調査結果

※ 昨年度の調査結果と比較して「ゆるやかな傾向」にある項目(5p程度の差)

- | | |
|--|--------|
| <input type="radio"/> 子どもはあいさつや返事がよくできる | Aの数値の増 |
| <input type="radio"/> 子どもが学校行事に楽しく進んで取り組んでいる | Aの数値の増 |
| <input type="radio"/> 学校は思いやりのある子どもを育成している | Aの数値の増 |

- 先生は子どもの能力や意欲を認めてくれる A+Bの数値の増
- 先生に子どものことについて気軽に相談できる A+Bの数値の増
- 先生は子どもの間違った行動等を指導してくれる Aの数値の増

この調査結果について、全校を平均化したものですので、昨年度と比べて大きな変動はありませんでしたが、ゆるやかな変動は見られたことは前述したとおりです。それが上向き傾向のものが多くあったことにホッとする思いをしています。しかし、学年・学級によりかなり偏りもあったことは事実です。そのため、この全校の結果からは漠然としたものしか分からないと言えればそれまでですので、さらに学年・学級の結果に視点を置き、その子どもの状況を捉えながら対応を考える必要は大いに感じています。なお、ここでは、選択肢A「よくあてはまる」の数値であったり、A+Bの数値について全校の傾向を探りました。



学芸会・「わらしべ長者」(2年5組)

まず、子どもの結果です。「あいさつや返事」について「A」が微減していて気に掛かるところですが「A+B」は増加しています。今後、進んで行えるような手立てが必要です。それ以外は、うれしい結果でした。「困ったときに相談できる友達や先生がいる」項目の「A」の数値や、「友達を大切にする」項目の「A+B」の数値が微増していました。これは、学校の教師集団も意識して取り組んできたことですし、友達同士の助け合いも指導していたことですので、そのことが少しずつ子どもたちに浸透してきているようです。そのためか、「住んでいる地域」の項目の「A+B」の数値も微増し、地域にも目を向けることができるようになってきていると考えられます。

次に、保護者の結果です。昨年度はやや厳しいご指摘をいただきましたが、今年度は前向きに捉えられる結果となっているようです。中でも「子どもの能力や意欲を認めてくれる」項目の「A+B」の数値、「子どもの間違った行動等を指導してくれる」項目の「A」の数値が増えていることは、教師集団の努力の成果と言えますし、そのことを感じていただける保護者の方々がみえたことはうれしいものです。そのためか「気軽に先生に相談できる」項目の「A+B」の数値も増えています。このことは、昨年度の課題であった「保護者と担任教師とのコミュニケーションの取り方等の改善」がうまく機能しつつあるようです。徐々にですが、学校と家庭の歯車がうまくかみ合い始めたようです。今後は楽しみになってきます。

この学校評価の結果は、来年度の教育活動の内容や指導の方向性・留意点等を考える上で大いに参考になる資料です。もし、学校の教育活動をよりよくするご意見等があれば是非ともお寄せください。子どもの教育について必要なものであれば積極的に取り入れていきたいと考えています。今年度は終了し、あとは卒業式と修了式を残すのみですが、皆様の本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝しています。

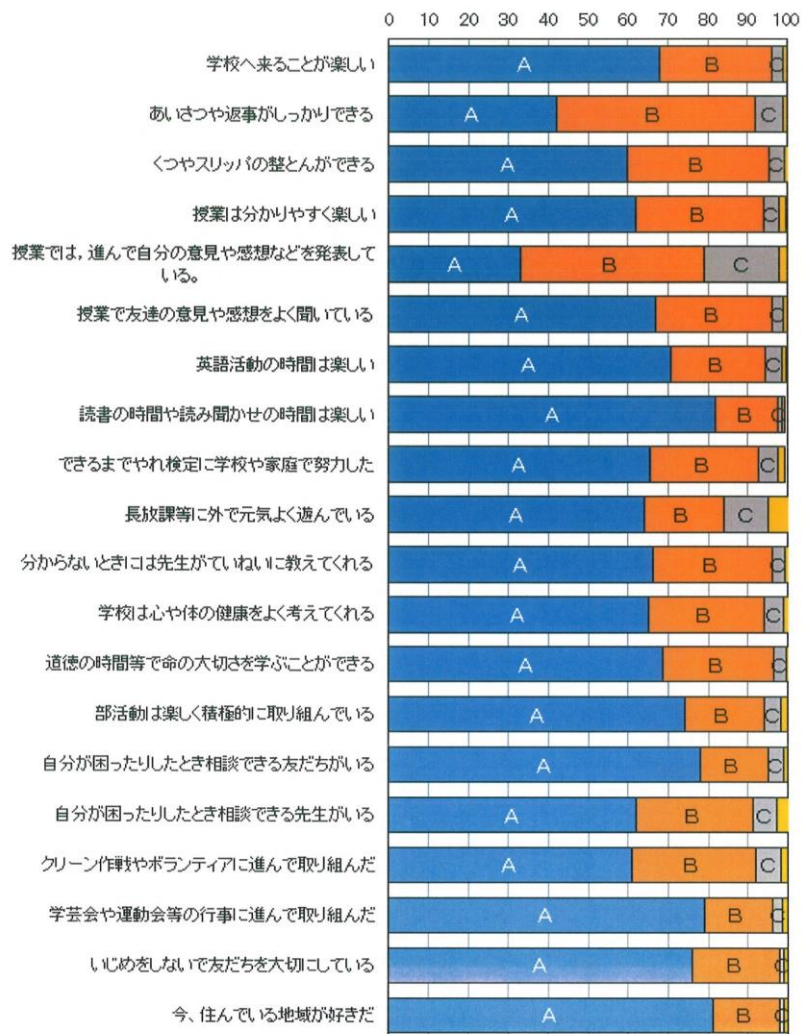


本年度最後の音楽集会

令和元年度3学期教育診断評価の結果

A：よくあてはまる B：どちらかというとはまる
 C：どちらかというとはまらない D：あてはまらない
 ※ Dは少数のためグラフ中の文字表記は省略してあります。

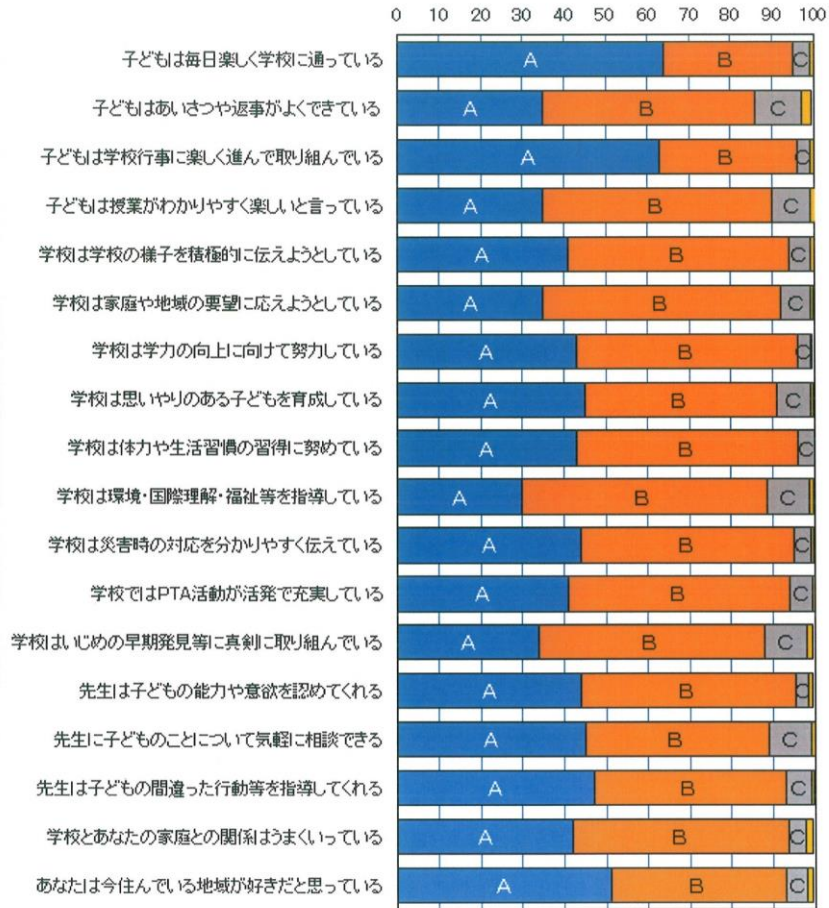
【児童の調査結果】 (全児童 808名) ※部活動への参加は4～6年



【保護者の調査結果】

全保護者 587 名

※「環境・国際理解・福祉等を指導している」は4～6年



ありがとうの会 [2月25日(火) 多目的室]



お世話になっている方々の紹介



ありがとうの花束贈呈



子どもたちによる寸劇